



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



磐田市立総合病院は持続可能な持続可能な開発目標(SDG's)を支援しています。

## 基本理念

### 医療の原点は思いやり

この基本理念を達成するため、5つのテーマを念頭におき、心温かで、心豊かな患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院づくりを目指します！



- 1. やさしさ**  
人間を大切に「心と心のふれあう人間観の中で」ひとりひとりの患者さんやご家族の皆様に思いやりのある心をもつ。
- 2. プライバシー**  
患者さんのプライバシーに配慮するため、互いに理解しあい、相手の個性を認めた上での接し方や説明を行う。
- 3. アメニティー（快適環境）**  
患者さんが快適に入院生活を過ごすことができるように、清潔で静かで安心できる環境を提供する。
- 4. わかりやすさ**  
患者さんの立場をよく理解し、わかりやすい方法で接する。
- 5. スピーディー**  
来院から退院まで、院内各部門の協力体制により迅速な対応を行う。

## 看護部理念

当院の基本理念である「医療の原点は思いやり」に基づき地域の皆さまに信頼される安全で質の高い看護を提供します

1. 私たちは、常に“やさしさ”“温もり”をもち、心に寄り添う看護を提供します。
2. 私たちは、地域の医療・保健・福祉と連携した看護を展開します。
3. 私たちは、専門職業人として自己研鑽に努めます。
4. 私たちは、多職種と協働し患者中心のチーム医療を推進します。
5. 私たちは、病院職員として病院経営に参画します。
6. 私たちは、互いの多様性を認め、助け合える職場をつくります。

### このパンフレットの誕生ストーリー

このパンフレットを作るにあたり、盛り込みたい内容を先輩たちが話し合いました。「何を一番に伝えようか？」と話し合った結果、磐田市立総合病院の看護師として、この地域の人々を支えるために、暮らしに目を向けて急性期看護を見直す取り組みをしていることを一番に伝えたいと考えました。そして、全員の力で新人を育て、地域と連携しながら看護を提供している私たちの思いを盛り込むことにしました。

## 看護体制

看護配置：一般病棟入院基本料7対1  
勤務体制：一般病棟 変則2交代勤務  
看護方式：継続受け持ち制をとり、担当看護師は入院から退院まで責任を持って受け持ち患者様に看護を提供しています。

## 病院概要

病床数：500床  
併設施設：健診センター/救命救急センター/周産期母子医療センター/外来東館(化学療法室・放射線治療科・相談支援センター)



### お車をご利用の場合

東名高速道路「磐田IC」から約7分  
磐田バイパス「見付IC」から約10分

### 公共バスをご利用の場合

JR「磐田駅」より遠鉄バス「磐田市立病院行」約25分

ACCESS



# 磐田市立総合病院

IWATA CITY HOSPITAL

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512-3  
tel. 0538-38-5000(代表)

看護部のくわしい情報はこちら！

磐田市立総合病院 看護部



# IWATA

## Heart to Heart

## 2023



# 「思いやり」の輪でつながる

## 看護部



# 磐田市立総合病院

## Iwata City Hospital



# 広げよう、 「思いやり」の輪

## しなやかで、やさしい看護でつながりたい

安心

安全

高品質

患者さんの喜びを看護のチカラに変え、その人らしい健康と生活を支援していきたい

私たちは、『当院の基本理念である「医療の原点は思いやり」に基づき、地域の皆さまに信頼される安全で質の高い看護を提供します』を看護部の理念とし、常にやさしさや温もりをもち、患者さんの心に寄り添う看護を大切にしています。

未だ終息を迎えない新型コロナウイルス感染症の予防対策のために、入院患者さんへご家族や親しい方と会うこともできず、不安で寂しい思いを強いられています。そのような患者さんの一番身近にいる私たち看護師が、患者さん一人ひとりの心の支えとなり、何をどのようにすればよいのかを考え看護をする。そして、患者さんの喜びを看護のチカラに変え継続していく。そんな看護を私たちは実践しています。

質の高い看護の提供のためには、学び続けることが必要です。看護師の学びを応援・サポートし、育成できる環境があります。新人看護師一人ひとりをみんなで大切に見守り育んでいく支援体制や段階的に着実に成長できる教育プログラムも充実しています。看護師の学びを応援しサポートする育成できる環境もあります。

また、当院は地域医療支援病院として地域とのつながりを大切にしています。患者さんを中心とした院内・院外での多職種とのチーム医療で、その人らしく健康な生活を維持できるように支援しています。

## 専門性の高いチーム医療で地域をまもる



すべての人に健康と福祉を



つらい思いに共感し、地元住民の  
がん治療の一端を担っていききたい

### 高度型がん診療センター

がん化学療法看護認定看護師 飯田 みつえ

私たちは、抗がん剤をはじめとするがんの薬物療法を外来通院で行う専門の治療センターです。医師・薬剤師・看護師・栄養士・臨床心理士・歯科衛生士・MSW・緩和ケアスタッフなど、多職種でがん患者さんの治療と日常生活をサポートしています。専門的知識に基づき、抗がん剤の適正な投与管理、副作用対策やマネジメント、セルフケア支援、治療期間中の身体的精神的サポートを行っています。がんと共にしながらも、その人らしく、治療前と変わらない日常や生活が出来、安心してがんの治療が続けられることを目指しています。患者さんやそのご家族は、がんと診断された時から、様々な思いを抱いて治療に臨んでいます。つらい思いに共感し、安心してがん治療が続けられるよう、ひとりひとりの患者さんに寄り添った看護の提供をすることを大切にしています。私は、地域がん診療連携拠点病院として、地元住民のがん治療の一端を担っていると実感しています。



高度化で安楽な手術環境を目指し、  
質の高い医療を提供していききたい

### 手術センター

手術看護認定看護師 萩原 義久

手術や麻酔はその場の状況で全身状態が一変してしまいます。私たちのセンターでは、常に患者さんの安全を担保するために、麻酔科医師や執刀医をはじめ、多職種と連携しています。また、循環管理のための薬剤準備や投与、手術資材の手配、職種間連携のコマンドーなどの業務や役割も担い、質の高い医療の提供に努めています。今後は、ロボット支援手術の拡大及び術後疼痛管理の促進、手術環境の高度化と安全化を目標としています。看護をする上で大切にしていることは「手術が安全に完遂される」だけでなく、少しでも安心感をもって周術期を過ごせるようにすることです。私がこの病院で働いてよかったと実感している事は、教育を通して麻酔領域についての見聞や知識を深められた事です。新しい手術室で、先端手術の経験ができることも自身の成長にとってプラスになっています。



個別性を意識した看護を継続し、母児  
の安全を守るよう努めていきたい

### 周産期母子医療センター

助産師 松倉 友紀

周産期母子医療センターとして地域の病院からハイリスク妊婦を受け入れ、分娩対応や産後ケアを行っています。そのため、基礎疾患のある妊婦の管理について専門的な知識を有したり、緊急手術などにも対応するため、日頃からシミュレーションを行ったり、対応の振り返り等も実施し、母児の安全を守るよう努めています。また、社会的ハイリスク妊婦や褥婦に対しては地域の保健師と連絡を取り、入院期間以外でも継続したフォローが行えるようにしています。コロナ禍で個別の指導が増えたことにより、個別性を意識した看護を今後も継続していきたいです。私たちの職場は、スタッフ間の風通しが良く、良い看護を模索できる環境だと思っています。患者さんの看護について、相談や意見交換をしやすい職場環境でとてもなじみやすい雰囲気なので、私自身も、患者さんの想いに寄り添った看護の提供、患者さんとその家族の個性にあった看護が大切にできていると思います。

## RRS

### Rapid Response System：院内迅速対応システム

使命感

異変を早期に察知し  
重症化を防ぐ



多くの「急変」には前兆があるという点に着目した  
対応システムで、早期認識・介入を目的としています

入院中の患者さんの中には、一定数の割合で急変する患者さんが存在します。我々RRT（早期迅速対応チーム）は、病棟看護師やコメディカルスタッフがその前兆を早い段階で認識し、早期介入することができるように、医師・RRSの要請基準を作成したり、主治医が対応できない場合は早期介入したりする役割を担っています。患者さんの異変を敏感に察知し、予期しない院内心停止がなくなることを目標としています。



# お互いを認め合い、「やりたい看護」を

**研修生**



5階東病棟  
看護師  
戸田 麻莉奈

**実地指導者**



5階西病棟  
看護師  
伊藤 江梨花

患者さんの全体像を把握して、  
安心できる看護の提供に繋がりたい

静脈採血や静脈留置など注射技術の研修での緊張感。同期と事例を共有しながらの実践。困った時に温かく丁寧に指導して下さる先輩達。病棟の雰囲気も明るく、助け合える働きやすい職場。患者さんから「ありがとう」「いつも助かっているよ」の言葉にやりがいを感じる日々を過ごしています。患者さんの全体像を把握して、全身状態の観察や退院支援について考える先輩の姿を目標にして、安心できる思いやりのある看護の提供をしていきたいです。

思いやりの心を持った看護師として  
地域医療にも貢献していきたい

私が働いている5階西病棟は循環器内科、呼吸器、乳腺外科、婦人科の混合病棟であり幅広い分野の知識や技術を身につけることができます。患者さんがその人らしい日常生活を送れるように、退院後を見据えたセルフケアの指導や外来との連携を行い、患者さんやご家族の思いを傾聴し寄り添うことを大切にしています。今後は、「患者さん一人ひとりに寄り添い、思いやりの心を持った看護師」として地域医療にも貢献していきたいと思います。

# 応援しあえる仲間がいます

**研修担当者**



6階西病棟  
看護師  
野中 章代

**管理者**



7階西病棟  
看護師長  
天野 美穂

柔らかい雰囲気ですべて、  
安心感を与えられる寄り添いたい

私は、忙しい中でも安心感を与えられる言葉掛けや態度で患者さんに寄り添うことを大切にしています。患者さんには、柔らかい雰囲気ですべて、その人らしく生活できるようにサポートをしています。また、後輩への指導では、相手の気持ちを聞き、受け止めて指導するようにしています。当院は、教育プログラム、福利厚生が充実しているので、仕事だけでなく、プライベートも満足できる環境なので、充実した看護師生活を送ることができています。

「患者ファースト」の姿勢で、  
スタッフが働きやすい環境を作りたい

医療が進歩しても、看護の基本は「やさしさ」「思いやり」。その人の背景も捉え、患者さんの心に寄り添う看護をしていきたいです。これまで、私は循環器内科、救命病棟、外科系、消化器内科病棟で働いてきましたが、病棟だけでなく、外来を約8年経験しています。その経験を活かしながら今後も連携を取り、継続看護に繋がっていきたくです。現在、病棟師長として働いており、「患者ファースト」の姿勢を大切に、スタッフが働きやすい環境作りを日々目指しています。

## 新人教育・支援体制



### 1 全員参加で支援

2年目以上の全職員で新人を支援します。あえてプリセプター制度を導入しないことで「全員で新人を支える意識」を強化し、誰にでも相談できる環境を整えています。

### 2 2年目から配属

研修したい部署を調査し、臨床研修プログラムで5カールのローテーション研修を実施。研修終了後、希望部署を再調査し、希望先で長期研修を受け、2年目に正式配属となります。

### 3 新人部屋の確保

ローテーション研修中は、新人専用の部屋を設置します。同期看護師との絆を深め、将来的に支え合い、高め合っていけるような仲間づくりを目的としています。

## 実践的研修



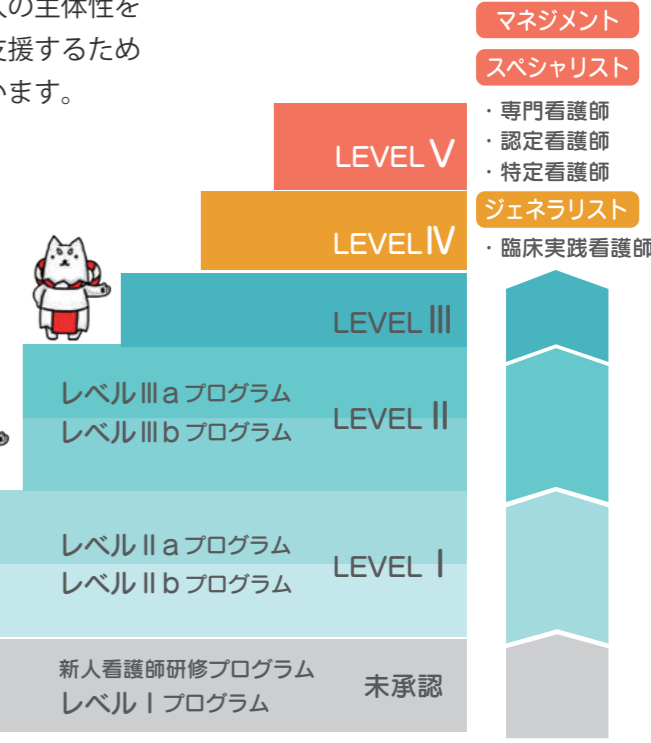
新人臨床研修制度により、基本的な看護技術に加え、専門性の高い技術などを習得し、日常業務を学ぶ。

## 頑張る人を支え・育てる環境

### 一人ひとりの「なりたい看護師」の実現に向けて

#### クリニカルラダー レベル別プログラム

レベルIII以降は、各個人の主体性をもったキャリア開発を支援するためのコースが用意されています。



質の高い教育をみんなに



# 医療と地域をつなぐ架け橋として

## 地域包括ケア

医療と生活が一体化した地域完結型医療



医療機関・  
介護施設等



地域の皆さま・  
患者さま



磐田総合病院

当院は「地域医療支援病院」です。「医療の原点は思いやり」の理念のもと、かかりつけ医等の地域の医療機関、回復期リハビリテーション施設等と連携し、地域の皆さまが安心してそのらしい生活ができるよう、切れ目のない医療サービスを提供できるサポートをしています。



つながる会

磐田市・森町の病院・訪問看護ステーションが集まり「顔の見える関係づくり」や課題共有、解決に向けた研修や相互の機能・役割の理解等を図ることを目的に活動しています。近隣だからこそ連携を深め、地域完結型医療を目指し、患者さん一人ひとりの状況に応じて身体的・社会的・精神的にサポートしています。



すべての人に健康と福祉を



人や国の不平等をなくそう



ジェンダー平等を実現しよう



住み続けられるまちづくりを

# 切れ目のない充実した医療を提供し、皆さまの生活の安心につなげます



救急救命病棟  
認知症看護認定看護師  
田森 智美

### 24時間切れ目のない認知症ケアの提供を目指したい

救命救急病棟に在籍し、週2回、認定活動日として院内を横断的に活動しています。認知症の人の不安な思いに寄り添い、不足しているニーズを模索し、その人らしく過ごせるようにケア方法を検討・提案しています。自宅での生活環境や習慣、趣味や好きなことを取り入れながら、長年の生活の中で培われた「その人らしさ」を尊重できるように、多職種スタッフと協働しながら支援しています。地域の研修に携わり、地域一体となって支援していきたいと考えています。認知症の人の視点で、その人にとって何が最善なのかを考えながら、24時間切れ目のない認知症ケアの提供を目指しています。



PFM 看護師  
青葉 節子

### 納得できる意思決定を支える入退院支援のエキスパートを目指したい

入院前から患者様の状況を把握し支援を開始するとともに、入院後は患者さんの目標を共有し、達成できるように病院内外の関係機関と連携を図って調整を行っています。また、退院後も「時々入院、ほぼ在宅」が実現できるように外来での患者支援や在宅関係者との連携を行っています。元気に帰られる方ばかりではなく、在宅で最期を迎える方もおられますが、患者さんやご家族が納得できる意思決定やそれに繋がる支援が行えた時に仕事のやりがいを感じます。入退院管理室に配属されて5カ月が経ちました。入退院支援についてもっと学んで、経験して、入退院支援のエキスパートを目指したいです。



6階東病棟  
看護師・呼吸療法認定士  
許田 奈保加

### 呼吸療法士として、望む生活を送る手助けをしていきたい

呼吸器病棟で呼吸療法士及びRST係として酸素デバイス管理、指導しています。患者さんとご家族が望む療養生活が送れるように、患者・家族の意向に沿って在宅調整をしています。その際、在宅酸素療法を導入して帰る患者さんも多いです。面会制限がある中で、ご家族に指導用のDVDの貸し出しのマニュアルを考案、運用して退院後も患者さんが不安なく自宅での生活や療養生活を行えるようにしていました。入院中から、退院後を見据えた看護の提供を行っているのは、患者さんがこれまでの生活を維持し、望む生活を送る手助けになるので、とてもやりがいを感じます。



救急救命病棟 看護師  
川本 貴子

### 災害看護だからこそ、辛い所に手の届く看護を提供していきたい

私の担当領域は災害看護です。病院内外で活躍でき、培った知識や技術を地域に還元することができます。また、日常生活に活かせる知識も多く、災害時に自分の家族や大切な人を守ることができます。何より、お互いを高め合える熱い仲間がいることが最大の魅力だと思っています。私が看護をする上で大切にしているのは、多角的な視点で物事を捉えることや、相手の思いに寄り添い「辛い所に手の届く看護」が提供できるよう日々努力することです。そして、それを実践するために、柔軟な思考、ポジティブな思考、行動力といったことを常に意識して看護に取り組んでいます。

## WORK

安心して働けます！

看護師ご夫婦



外来 看護師 小野寺 一磨  
3階西病棟看護師 小野寺 菜未

### 仕事も集中、家族との時間も充実

仕事をしている時は、患者さんと向き合い、辛いことはないか、安心して入院生活を送れているかを考えることに集中しています。プライベートでは、家族全員で過ごせる時間を設け、特に、子供が寂しい思いをしないように、お話をする時間を必ず作っています。仕事と家庭の両立がしやすいので、この病院で働いてよかったと思っています。

ワークライフバランス  
心と体の安心・安全

当院では、勤務体制、育児や介護の制度、給与などに取り組んできました。現在はさらに見据え「時間外勤務の短縮」「休憩時間の確保」「結婚・出産・育児・介護しながら働き続けられる体制」「キャリアアップできる成長する職場」などにチャレンジ中です。

## LIFE

趣味もとても充実しています



4階西病棟看護師 安川 亜希

### 仕事と生活のメリハリを感じる趣味の時間

仕事中は慌ただしく、イライラする時もあり、深呼吸をして心を落ち着かせることを大切にしています。一方、プライベートでは、山道を登り、たどり着く広い景色を見て、「明日も頑張ろう」と思い、生きることの楽しみを見出しています。不規則な勤務ですが、趣味のおかげで生活にメリハリを感じることができています。

私生活が仕事のやりがいにつながる

看護師たちがいきいきと仕事し、「二階に働きましょう！」と声に出せる職場であり続けたいと頑張っています。

